

- 問1 東京都中央卸売市場におけるピーマンの月別出荷状況を見ると、1月から5月にかけては宮崎県や高知県からの出荷が市場の大半を占めています。夏場になると岩手県や茨城県からの出荷が増えるという対照的な構造になっています。宮崎県や高知県が、冬から春の時期に多くのピーマンを出荷できる背景として、最も適切な説明はどれですか。（2020年 大分県公立入試 類似）
1. 広大な平野で機械化を進め、一年を通じて季節を問わず露地栽培を行っているため
 2. 夏の涼しい気候を活かし、本来の収穫時期よりも大幅に遅らせて出荷しているため
 3. 冬の温暖な気候とビニールハウスを活用し、成長を早めて出荷時期をずらしているため
 4. 大消費地である東京までの輸送距離が短いため、冬場の寒さによる鮮度の低下を防げるため
- 問2 九州地方などの畜産業において、外国から安価な牛肉や豚肉の輸入が増加した際、国内の農家が経営を維持するために取った戦略として、最も適切な説明はどれですか。（2023年 福島県公立入試 類似）
1. 外国からの輸入を完全に禁止するよう国に強く働きかけ、市場の独占を目指した。
 2. 「宮崎牛」などの名称を冠したブランド化を進め、品質の高さで差別化を図った。
 3. 外国産の肉に対抗するため、生産コストを極限まで下げて安売り競争を続けた。
 4. 畜産業から撤退し、すべての農地を海外輸出向けの果樹栽培に転換した。
- 問3 日本の都道府県の統計において、長崎県は群馬県と比較すると、面積は約1.5倍小さく、児童数も約3万人少ない状況にあります。しかし、小学校の数に関しては、群馬県の316校に対し、長崎県は343校と上回っています。長崎県において、面積や児童数が少ないにもかかわらず、小学校の数が多くなっている理由として最も適切な説明を選んでください。（2018年 岩手県公立入試 類似）
1. 複雑な海岸線や多くの離島を抱えており、島々に住む児童のために学校を分散して配置する必要があるから。
 2. 人口密度が全国的に見ても非常に高く、都市部に多くの小学校を設置しなければならないから。
 3. 歴史的な背景から私立小学校の数が非常に多く、公立小学校と合わせて全体の数を押し上げているから
 4. 山地が多いため、一つの学校に集まることが困難で、小さな集落ごとに学校を建設しているから。
- 問4 沖縄県における河川の状況と水資源に関する記述として、統計的な事実や地理的特徴に基づいた正しいものを選びなさい。（2020年 静岡県公立入試 類似）
1. 河川が非常に緩やかに流れているため、海への流出に時間がかかり蒸発による損失が激しい。
 2. 降水量が極めて少ない地域であるため、河川の流量が年間を通じて一定ではない。
 3. 全国平均と比べて河川の長さが極めて短く、雨水を安定して蓄えることが難しい地形である。
 4. 大規模な平野部を流れる長大な河川が多く、古くから水田稲作が盛んに行われてきた。
- 問5 九州地方の大分県では、活発な火山活動の恩恵を受けた観光が盛んです。市内各所から激しく湯煙が立ち上がる景観が「地獄」と呼ばれ観光名所となっている地域において、その高熱の蒸気を直接利用して食材を加熱する伝統的な調理文化を何といいますか。（2022年 沖縄県公立入試 類似）
1. かんだき
 2. 石焼き
 3. 地獄蒸し
 4. 蒸し風呂
- 問6 鹿児島県に広く分布するシラス台地において、その自然条件を背景に発展したこの地域の農業の特色として最も適切なものはどれですか。（2015年 兵庫県公立入試 類似）
1. 火山灰が堆積した地層は水持ちが悪いので、稲作よりもサツマイモや茶などの畑作、および肉用牛などの畜産が発展した。
 2. 一年を通じて温暖な気候を利用し、平坦な地形を活かして、冬でも雪が降らないことを前提とした稲の二期作が行われている。
 3. 土地が低く水がたまりやすいため、大規模な排水設備を整えることで、日本有数の米どころとして水田単作地帯となった。
 4. 地盤が非常に強固で肥沃な土壌であるため、重機を用いた大規模な小麦栽培と、大都市向けの近郊農業が中心となっている。
- 問7 九州地方に位置し、阿蘇山周辺や平野部、干拓地などを活かした農業が盛んで、全国トップクラスの農業産出額を誇り、特に野菜の生産額が多い県はどこですか。（2026年 徳島県公立入試 類似）
1. 高知県
 2. 愛媛県
 3. 熊本県
 4. 長野県
- 問8 日本の諸地域を学習する際、北海道、東北、関東、中部、近畿、中国・四国、九州の七つの地方区分が用いられることがあります。宮崎県を含むこの地方区分に基づいたとき、宮崎県と同じ区分に属する県の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2025年 愛知県公立入試 類似）
1. 愛媛県・香川県
 2. 広島県・岡山県
 3. 福岡県・鹿児島県
 4. 熊本県・徳島県
- 問9 大分県の自然環境と気候の特徴について述べた文として、最も適切なものはどれか。（2020年 熊本県公立入試 類似）
1. 県の中央部を東西に横断する山地の影響で、北部は一年中温暖で雨が少なく、南部は冬の季節風が山を越えて吹き下ろすため降雪量が多い。
 2. 県の中央部に比較的なだらかな山地が東西にのびており、北部は冬の季節風の影響で降水量が多く、南部は一年を通じて温暖で降水量が少ない。
 3. 全域が典型的な日本海側気候に属しており、冬の季節風が運ぶ湿った空気によって、県内全域で平野部でも大量の積雪が見られる。
 4. 中央部に険しい山脈が南北に走っているため、東部は瀬戸内海の影響を受けて年間を通じて雨が少なく、西部は夏に降水量が集中する。
- 問10 九州地方において、集積回路（IC）などの電子部品を製造する工場が、従来の重化学工業のような沿岸部ではなく、内陸部の空港や高速道路の周辺に多く立地している主な理由を説明したものと、最も適切なものはどれか。（2016年 岡山県公立入試 類似）
1. 原材料に大量の鉄鉱石や石炭を使用するため、海外からの輸入に便利な内陸部のインターチェンジ周辺が選ばれたから。
 2. 大規模な製造装置を動かすための電力を確保するために、火力発電所や原子力発電所が集中する空港付近の立地が必要だから。
 3. 工場の排水による海洋汚染を防ぐため、法律によってすべての先端技術産業は海から離れた場所に建設するよう義務付けられているから。
 4. 製品が小型で軽量かつ高付加価値であるため、運賃コストよりもスピードを重視した航空輸送やトラック輸送が適しているから。
- 問11 宮崎県の自然環境と産業の特徴について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2021年 東京都公立入試 類似）
1. 北部の山地から南へ流れる河川によって平野が形成されており、温暖な気候を背景に近年はITシステム開発企業なども立地している。
 2. 県庁所在地の人口が100万人を超えており、九州地方の政治・経済の中枢として、主に自動車産業の工場が平野部に集中している。
 3. 複雑に入り組んだリアス海岸が北部に広がっており、冷涼な気候を活かしたリンゴの栽培が平野部で盛んに行われている。
 4. 県全体が火山灰の降り積もった広大な台地に覆われており、大規模な機械化による小麦の生産とIT産業の集積が特徴である。
- 問12 九州にある特定の都市の産業別就業者割合を調査したところ、就業者全体の3分の1以上（約33.5%）が、製造業や建設業といった第2次産業に従事していることがわかりました。この都市の産業構造に見られる主な特徴として、最も適切な説明はどれですか。（2019年 佐賀県公立入試 類似）
1. 歴史的な建造物や自然景観を活かした観光業が、地域経済の基盤となっている。
 2. 大規模な自動車の組立工場や関連部品工場が集まって立地している。
 3. 広大な平野を活用した米作りや施設園芸といった第1次産業が中心である。
 4. 行政機関や商業施設が集積し、卸売業や小売業などの第3次産業が極めて盛んである。